

水道小ネタ（FY2025）

4/27 費用関数が新しくなりました

以前に「厚労省費用関数に思うこと」というエントリで「水道事業の再構築に関する施設更新費用算定の手引き」が近々改定されることをアナウンスしましたが、改訂版の手引がついに公開されました。すべての課題が解消された訳ではありませんが、以下のような点が改善されています。

- ・線形回帰だけでなく、累乗回帰も採用し、中小規模施設に対する過大見積もり問題に対応
- ・ $Q > 7200 \text{m}^3/\text{日}$ の深井戸における取り扱いを明記
- ・圧力式急速ろ過（ろ過機）を追加
- ・ポンプ場の延床面積の規模を追加
- ・諸経费率等を見直し全般的に金額を底上げ
- ・管路を新設と更新に区分
- ・管路撤去のm単価を追加（精度に疑義あり）

4/27 令和7年度全国水道主管課長会議

表題の毎年恒例の実務者向け会議資料が公表されました。人によってインプットは違いますが、私の新規インプットは以下のとおりです。

（PPT資料）

- p.21 特定簡水水道の定義が分かる図をようやく発見
- p.37 全国の上下水道事業で今後3年位内にDX技術を標準実装することを目標に据える
- p.41 水道情報活用システム導入事業体マップ
- p.55 立入検査でやはり水道料金の定期的見直しや資産維持費の算入が指摘事項に
- p.75 上流取水による省エネ効果評価手法等に関するマニュアルに反映する予定（どのマニュアル？）
- p.103 上流取水を交付金対象に追加
- p.208 令和5年度における水道料金の平均改定率は14%、最長改定期間は42年

（ワード資料）

- p.13 費用対効果分析における換算係数法の適切な取り扱いに言及
- p.25 国庫補助事業で空工事および対象外事業への充当が確認された（新潟県阿賀町）
- p.30 アセットタイプ3Cは全体の80%、4Dは23%（令和6年度時点）
- p.45 総括原価による資産維持費の算入は水道法施行規則で平成11年から規定されていたらしい